

お取引先社(団体)各位
会員出版社(団体)各位

「大震災出版復興基金」設立と協力のお願い

2011年7月

＜大震災＞出版対策本部

(社)日本書籍出版協会 (社)日本雑誌協会 (財)日本出版クラブの出版3団体は、東日本大震災により甚大な災害に遭われた地域の「読書環境の復活」「図書販売環境の復活」「人々の心の復活」を願い、3月23日に「＜大震災＞出版対策本部」を発足させ、日本出版取次協会、日本書店商業組合連合会など関連団体と協力し合いながら様々な取り組みを進めています。

具体的には出版各社から提供された図書の被災地への寄贈、被災地の子どもたちへの図書カードの寄贈、被災地での出版関連イベントの実施、被災書店への支援策等を検討し、可能なプロジェクトから順次実施しているところです。

例えば、4月より開始した図書寄贈は現在までに14万冊超を被災地へお届けし、図書カードも夏休み前に岩手・宮城・福島3県の被災地域にある教育委員会管轄の小学校児童約13万2000名(@1000円)へ届けられるよう手配を進めています。

こうした出版事業を通じた被災地の読書環境の復興支援を、中・長期に亘って継続するための財政措置として、6月9日「**大震災出版復興基金**」を(財)日本出版クラブに設立しました。

大震災発生から4ヶ月が経過し被災地が復興へ向う中で、本や雑誌の担う役割は、被災された方々の心の復活という面からも今後ますます重要性を増すものと思われます。

出版3団体加盟各社をはじめ、出版に関わる全ての団体・企業・個人の皆さまのご賛同、ご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

常任委員会委員長
相賀昌宏

1. 【基金設立趣旨・用途】

- ・ 「＜大震災＞出版対策本部」設立の趣旨に基づき、出版事業を通して東日本大震災による被災地の「読書環境の復活」「図書販売環境の復活」「人々の心の復活」に繋がる活動を実現・継続するための基金として設立します。
- ・ 基金は設立趣旨に沿い「＜大震災＞出版対策本部」が活動するために使用します。具体的には図書寄贈、図書カード寄贈、図書収蔵環境の整備等、被災地ならびに被災者の読書環境の復活・復興のための直接的な支援活動での使用を予定しています。

2. 【基金の募集と拠出方法】

- 3 団体加盟各社ならびに社員の皆さまからの寄付・募金、出版関連各団体からの拠出金、TIBF 等各種チャリティ事業からの収益金、加えて関係取引先企業・法人・個人からの寄付も募ります。
- 寄付金の拠出は(財)日本出版クラブの【大震災出版復興基金】口座へお願いします。
 - 口座名義：【大震災出版復興基金 財団法人 日本出版クラブ】
 - 口座番号：文化産業信用組合 本店 店番号 001 口座番号 普通預金 0189982
*文化産業信用組合 問い合わせ先：03-3292-2711(代) 担当 広瀬 正(本店長)
- 個人・団体等の振込は下記銀行口座もご利用いただけます。
 - 口座名義：【大震災出版復興基金 財団法人 日本出版クラブ】
 - ①三井住友銀行 飯田橋支店 店番号 888 口座番号 普通預金 7019369
 - ②三菱東京 UFJ 銀行 神楽坂支店 店番号 052 口座番号 普通預金 0064333
*振込手数料は拠出者ご本人様のご負担でお願いいたします。
*拠出金は一般の寄付金として扱われます(詳しくは最寄りの税務署にご相談ください)。

3. 【基金の使途報告・開示】

- 基金の総額、使途明細、残余金額等は「<大震災>出版対策本部」が運営する<大震災出版対策センター>のホームページ上で報告いたします。
- ご協力企業・法人・団体は名称のみホームページ等で公示させていただきます。

4. 【基金の活用期間】

- これまでに経験のない被災規模であり原発による被害も予測が難しいため、復旧・復興に要する期間は長期に亘るものと考えられます。このため基金の活用期間は当面、震災発生から2年間を目途とし、以降の基金存続については、その時点の被災地の復興状況を検討した上で「<大震災>出版対策本部」常任委員会で決定させていただきます。

5. 【基金の最終処分】

- 基金は設立趣旨に沿って使い切る予定ですが、被災地支援活動終了時点での最終的な残余基金の取り扱いは「<大震災>出版対策本部」常任委員会で決定の上、ホームページ上で報告いたします。
- 現時点では、今回の「大震災出版復興基金」設立趣旨に沿った事業やプロジェクトへの使用(使途先限定)を前提に、(財)日本出版クラブで管理することを想定しています。

以上

*本案内書は7月に作成、お届けした「基金設立と協力のお願い」を再録しています。
(但し3-第2項のみ改訂)